

地元の未来 新聞から学ぶ

NIE全国大会で公開授業



新聞記事をもとに意見をまとめ、感想を述べた愛知教育大付属岡崎中の1年生ら 一名古屋市熱田区の名古屋国際会議場

考える公開授業を受けた。

10年後のリニア中央新幹線（東京・品川―名古屋間）の開業を見据え、名古屋市内でマンションなどの建設ラッシュが続く様子を伝えた5月の新聞記事を参考に、志賀充規教諭が開業後の影響を説明。生徒からは、東京への移動時間の短縮などで人口が増え、岡崎市の人口減が心配されるといった声が出された。

助言者を務めた愛知教育大の真島聖子准教授は「記事を見て生徒が現場に行き、問題意識を深めさせることが大切」と話した。参加した成瀬愛さん(12)は「身近だけど知らない情報が新聞には載っている」と語った。



社のデジタルサービスを紹介するブースを設置。本紙も6月1日から始めたデータベースサービスや、7月に開設した教育支援関連のホームページを2日間にわたって紹介した。

名古屋国際会議場（名古屋市熱田区）で開催されている、学校の授業など教育の現場で新聞を活用するNIE（ニュースペーパー・イン・エデュケーション）の第22回全国大会は2日目の未来を新聞記事を通して

大会期間中には、新聞各

（14面に関連記事）